

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市住之江区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	87.7%
達成率	102.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	19,357	17,025	2,332

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,859,800	17,557,800	0	－
	計画	17,859,800	17,557,800		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	175,540	64,369	175,540	－
	計画	0	0		
合計	実績	18,035,340	17,622,169	175,540	－
	計画	17,859,800	17,557,800		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,822,554	12,273,081	-277,446	－
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	3,896,017	3,571,709	136,217	備品購入で増。
	計画	3,759,800	3,457,800		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,718,571	15,844,790	-141,229	－
	計画	17,859,800	17,557,800		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	102.9%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品等の一括発注及び比較見積調達並びに裏面利用による経費節減。 ・ボランティア講師等を活用することによる謝礼節減。	B	節電などの取り組みを行い、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と連携して消防訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により中止していた卓球の開放事業の再開や減少したサークル活動の支援を行うなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・警察署と連携し安全教室の開催やさきしま地域包括支援センターと認知症をテーマにした映画上映会を共催するなど、地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、施設内の廃棄物の適切な管理を行うなど実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
（2）回答者277人（未記入者含む）
（3）質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
（4）結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が87.7%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.センターだよりは情報量が多く、文字の大きさも小さめなので、情報を取捨選択し、アピールしたい点を強調する等、見やすくなるように修正していただきたい。
2.計画書と報告書でのP（計画）の部分に少しずれがあったため、作成する際には気を付けていただきたい。
3.センターへのアクセスの悪い地域へのアウトリーチの取り組みとして、地域組織との協力のもと、引き続き工夫をしながら取り組んでいただきたい。
4.センター利用者が自主性、主体性を持ってボランティア活動できるようなサポートが行われており評価できる。今後もこの取り組みを発展させていっていただきたい。
5.老人福祉センターを幅広い世代に広く知ってもらうための取組として、センター愛称公募等も検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルス感染対策のため、一部活動自粛期があったものの、フラダンス体験会など新たな事業を実施するなど設定した目標を達成した。また満足度調査においてもこれまで達成できていなかった目標を達成した。
市費の縮減	B	事業計画に基づき、物品の一括発注による消耗品費の圧縮やボランティアを活用した講師謝礼の縮減など効率的な管理運営を実施した。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけでなく、地域でも活躍していただける事業にも取り組むとともにZoomなどICTの活用、出張事業の実施などセンター利用者の拡大につながる運営を行った。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	概ね本市が期待する管理運営を行っていた。引き続き出張事業やICT活用により、エリアが広い当区における利用者拡大を図っていただきたい。